

コロナ禍で需要増！宅配ボックスの営業を開始します！

宅配ボックス営業開始

中区のコロナで非対面希望増

総合エネルギー会社のエネジン（浜松市中区）が3月、一戸建て住宅用宅配ボックスの営業を始める。コロナ禍で非対面での配達受け取りの希望者が急増する現状を受け、パナソニック製の後付け用「コンボライト」を特別価格で販売する。

エネジンはLPガスや電力の販売・点検などで県内約6万軒の顧客を持つ。コロナ禍で受注が増えるリフォーム部門が、接着剤で容易に設置できるボックスの機能と効果も、宅配ボックスの販売が増えるリフォ

紹介し、発送から施工までを担う。業界大手のパナソニックによる黒と黒以外で値段が異なる。タイプはミドル（税抜き価格約4万〜5万円）とラージ（同5万〜6万円）の各6色で、エネジン住宅リフォーム課の大野勝也課長代理は「新たな試みで顧客の困り事解決に貢献できたら」と話す。

来月から

売は工務店による代行が多く、ガス会社との連携は全国的にも珍しい。

なり、1万2千〜1万8千円引きで売る。販売目標は千台。専用ドアホンも別売りする。

（浜松総局・荻島浩太）



3万円前後から買えるパナソニック製の後付け用宅配ボックス
＝浜松市中区のエネジン

コロナで非対面希望者が増加している現状を受け、エネジンでは宅配ボックスの代理販売を開始致しました。パナソニック製の後付け用「コンボライト」を特別価格で販売致します。宅配ボックスをガス会社が販売代行をすることは、全国的にも珍しい取り組みとなっています。お客様のお困りごと解決をし、地域貢献に繋がっていきます。

令和3年(2021年)2月23日(火)

静岡新聞掲載